

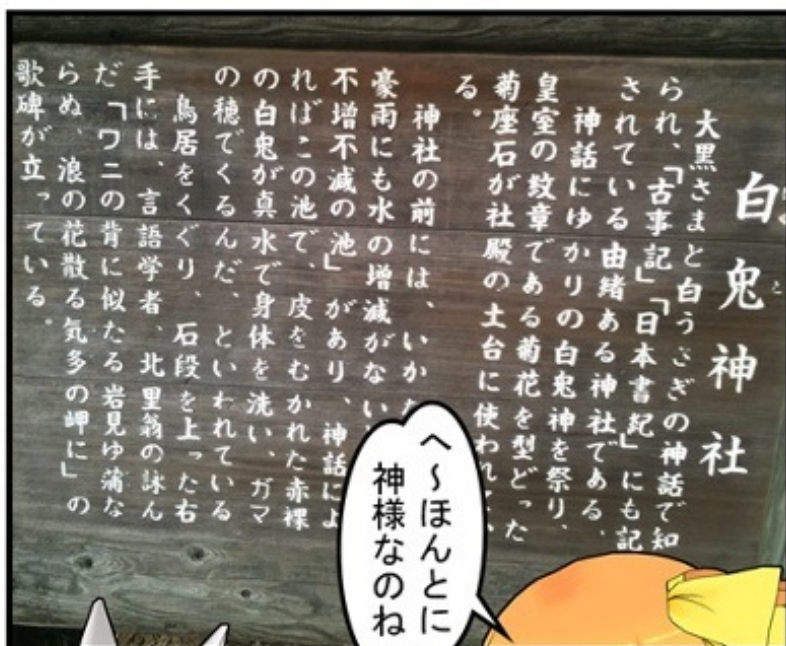
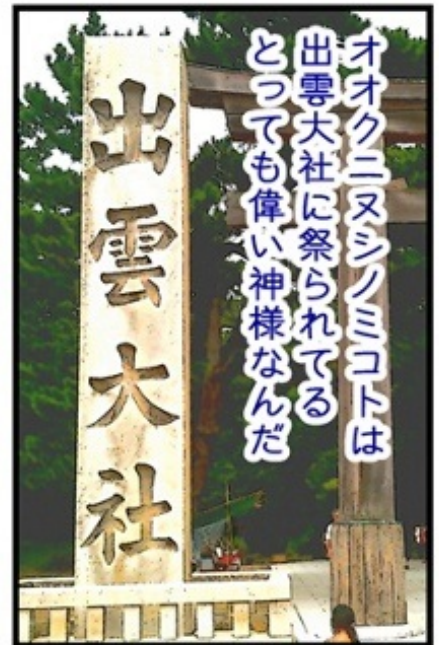
たたかえ！  
**地球防衛部 4?**  
いなばのしろうさぎの巻













「大国主命と八上姫」

日本最古のラフストーリー、  
神話「因幡の白兔」によると、出  
雲の國の大国主命が因幡の國八上の  
姫（瓊瓊杵尊の孫）に住む八上姫  
と可愛らしい愛をゆめと夢とを交し  
ていた。一日、通りかかった白兔が  
大、毛皮をはがられ置いていた白兔  
に出会う。大国主命は理由を聞いて  
助けようとする。その白兔はたいやき  
を食ひ、大国主命と八上姫が結婚し、  
とすまじ神でとりもちたすまじ。  
そのこと、白兔を主神とする  
こと、白兔神社は縁結びの神様として  
信仰されてきたのだ。

↑



**白兔神社**

御祭神 白兔神を主神とし、保食神と、  
いろ  
鎮座地 鳥取市白兔六〇三三  
例祭日 四月十七日御魂夜御  
白兔神社は古事記、日本書紀に記さ  
る由緒の明らかなき所謂「因幡の白兔」で有名  
な神社である。  
古事記に曰く、於岐ノ島に流された兎海神の和  
運を救うて氣多前まで渡らむとせしが救さ  
を知りたる和通により、赤く衣服を割かれ泣き  
悲しむ兎に八十神の命もちて海邊を浴びて風  
に當り伏せれば前にも増して痛みはけしく、  
ここに大穴牟遲神（大国主命）その兎に救へ  
たまはく、「今急ぐこの水門に往きて水もて汝  
が身を洗ひて、水門の清濁を取て敷き敷ら  
し、その上に轉じて汝が身、木の産の如くす  
差えなむものぞ」と教へたまひき、かし  
如せしかば、その身もとの如くなり、  
日本正統の発祥の地であり古事記  
靈驗あらたかな神様である。  
尚、大国主命と八上姫との縁を取りもたれた  
（仲人された）縁結びの神様でもある。

ここにも  
お品書きが

なんと！















## たたかえ！地球防衛部４？

<http://p.booklog.jp/book/36084>

著者：MADASS

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/madass/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/36084>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/36084>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.